

2020年2月12日

FP相談事例集

SG勉強資料

ウェブ・ステージ

1級ファイナンシャル・プランニング技能士



岩崎 康之



日本FP協会会員

URL: <http://webstage21.com/cf/>

E-mail: webstage@ny.airnet.ne.jp

TEL : 045-624-9603

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談 事例 ==
ロールプレー

目次

- 例1 30歳代:住宅取得に関するご相談 P 3
- 例2 40歳代:老後資金のご相談 P11
- 例3 50歳代:自宅買替のご相談 P19

ロールプレー段取り

コンピテンシーマップ

人生100年時代

ライフプラン相談記入シート

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談 例1 ==

30歳代：住宅取得に関するご相談

田中さんご夫婦が**ご相談**にいらっしゃいました。
一昨年結婚後、賃貸マンションで暮らしています。奥様は専業主婦で、今年にお子様誕生予定です。現在の賃貸マンションはJRの駅からバスで約15分～20分の場所にある新築物件で、そばにはスーパーや公園などもあり気に入っているそうです。最近近所に3000万円位の一軒家が売り出されているとのこと。

質問内容

- 将来、近辺に自宅(一軒家)を購入したいが可能か？
(近所で売り出し中の3000万円位を希望)
- 自宅を購入した場合、奥様はパートなどをする必要はあるか？
- 自宅を購入しても老後の費用は賄えるか？

申込(相談)の後、次ページの金融資産情報をメールでご返信いただきました。

次回の面談をどの様な用意をしたらよいか討議して頂きたいと思えます

⇒お客様、FPと書記に別れて、実際の面談を想定してロールプレーを実施して下さい

[ライフプラン相談記入シート](#)

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

お客様のご相談内容

家族構成

田中様 (昨年末 年齢)
本人(誠): 36歳 配偶者(由美): 31歳
お子様は今年出産予定 (一人っ子の予定)

職種: 本人: 製造業 (中企業) 年収420万円(昨年)
配偶者: 専業主婦 [以前: 学習支援 (アルバイト) 5年間]

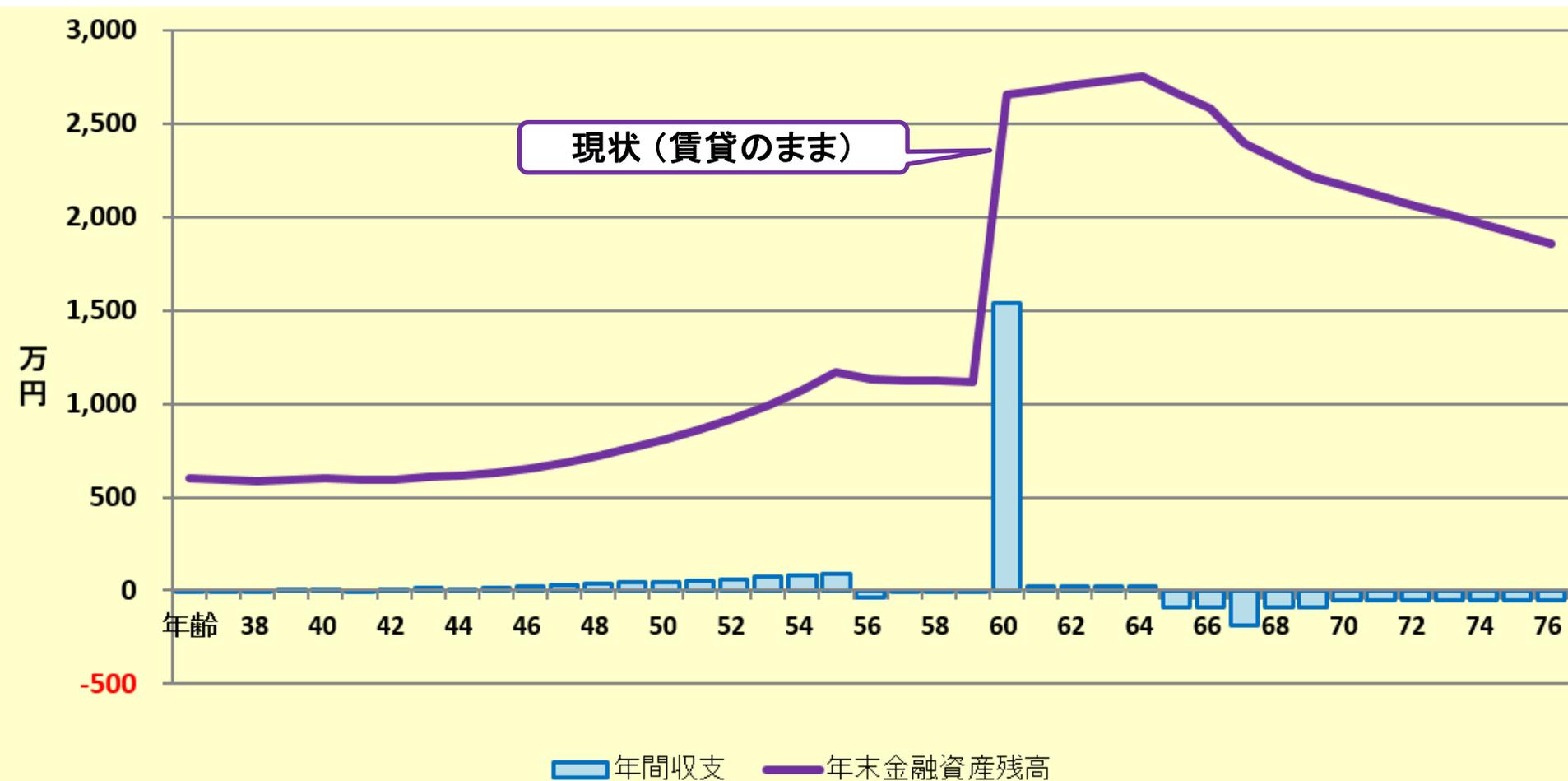
金融資産: 600万円 (昨年末)
生活費: 240万円 (20万円 x 12ヵ月)
家賃: 96万円 (年間・管理費含む)
保険料: 3万円 (年間)

なお、奥様は堅実な方で**家計簿**をつけているそうです。



== FPの相談 例1 続き ==

現状の金融資産状況 (現在の賃貸マンションに永住の場合)



FPキャプテン 2020年版

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複製、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談 例1 続き ==

現状の金融資産状況 (賃貸マンションの場合)

現状(例1:Input)		現状のキャッシュフロー表 (単位:万円)													田中様		2020年2月6日		作成者 岩崎康之	
経過年数 西暦	基準年⇒	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13					
		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032					
ライフイベント		家族・夫婦予定																		
		子供予定																		
		1子誕																		
		1子保																		
		1子小																		
年齢	誠様	本人	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49				
	由美様	配偶者	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44				
	いない時は-1	第一子	-1	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
予想値	参考: 誠様	税込予測	420	429	439	449	459	469	480	490	501	513	524	536	548	560				
	参考: 由美様	税込予測	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	参考: 退職金	税込予測	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
収入	可処分所得	誠様	2.234%	338	346	354	361	368	376	383	391	399	408	416	424	433	442			
	可処分所得	由美様	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	可処分所得	退職金	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	ローン借入金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	副収入: 企業年金: 一時的: 注	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	その他ローン控除: 個人年金: 注	0.000%	0	18	18	18	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12			
	収入合計(可処分所得)		338	364	372	379	380	388	395	403	411	420	428	436	445	454				
支出	基本生活費	0.000%	240	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275				
	住居費(ローン以外)	0.000%	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96				
	教育費	0.000%	0	0	0	0	0	22	15	15	32	32	32	32	32	32				
	保険料	0.000%	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3				
	自動車関連費	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	一時的支出	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	その他支出: 年金積立	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	支出小計1		339	374	374	374	374	396	389	389	406	406	406	406	406	406				
	ローン返済代+諸費用		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	使途不明金	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	支出合計		339	374	374	374	374	396	389	389	406	406	406	406	406	406				
年間収支	601	-1	-10	-2	5	6	-8	6	14	5	13	22	30	39	48					
年末金融資産残高	600	0.000%	600	590	588	593	599	591	598	612	617	630	652	682	721	769				
ローン残高(年末)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
児童手当受給額+すまい給付金	万円	0	18	18	18	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12					

FPキャプテン 2020年版

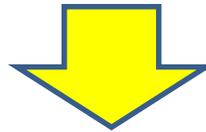
事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談 例1 続き ==

ご希望内容をかなえた場合の将来設計に関して

ご希望内容

- 将来、近辺に自宅(一軒家)を購入したいが可能か？
(近所で売り出し中の3000万円位を希望)
- 自宅を購入した場合、奥様はパートなどをする必要があるか？
- 自宅を購入しても老後の費用は賄えるか？



ご希望が無理の場合の対策を考える

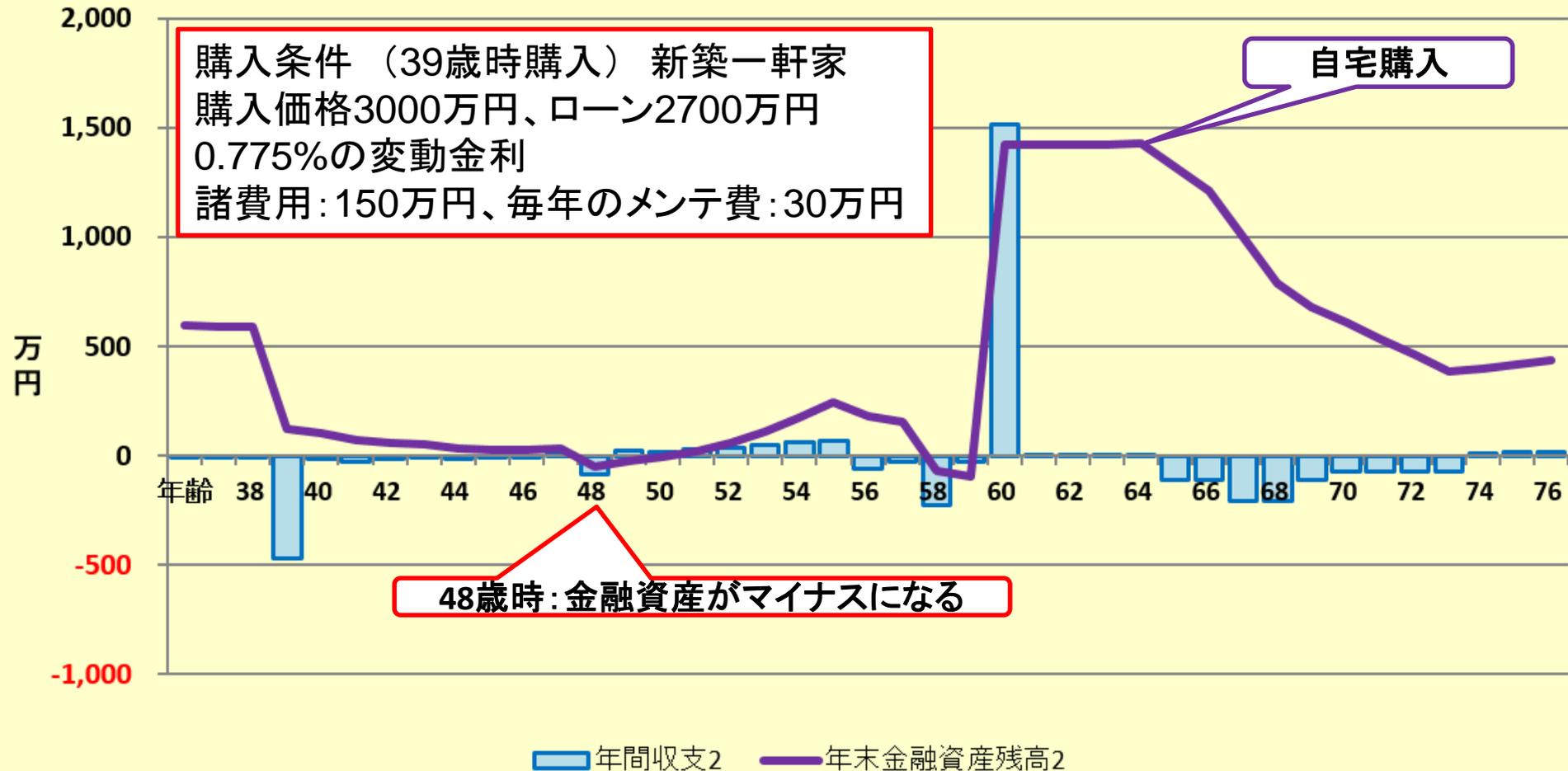
次回の面談で行う説明内容・質問項目と解決策を討議して頂きたいと思います

[ライフプラン相談記入シート](#)

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談 例1 続き ==

自宅購入後の金融資産状況 (再来年に自宅を購入した場合)



[例2へ](#)

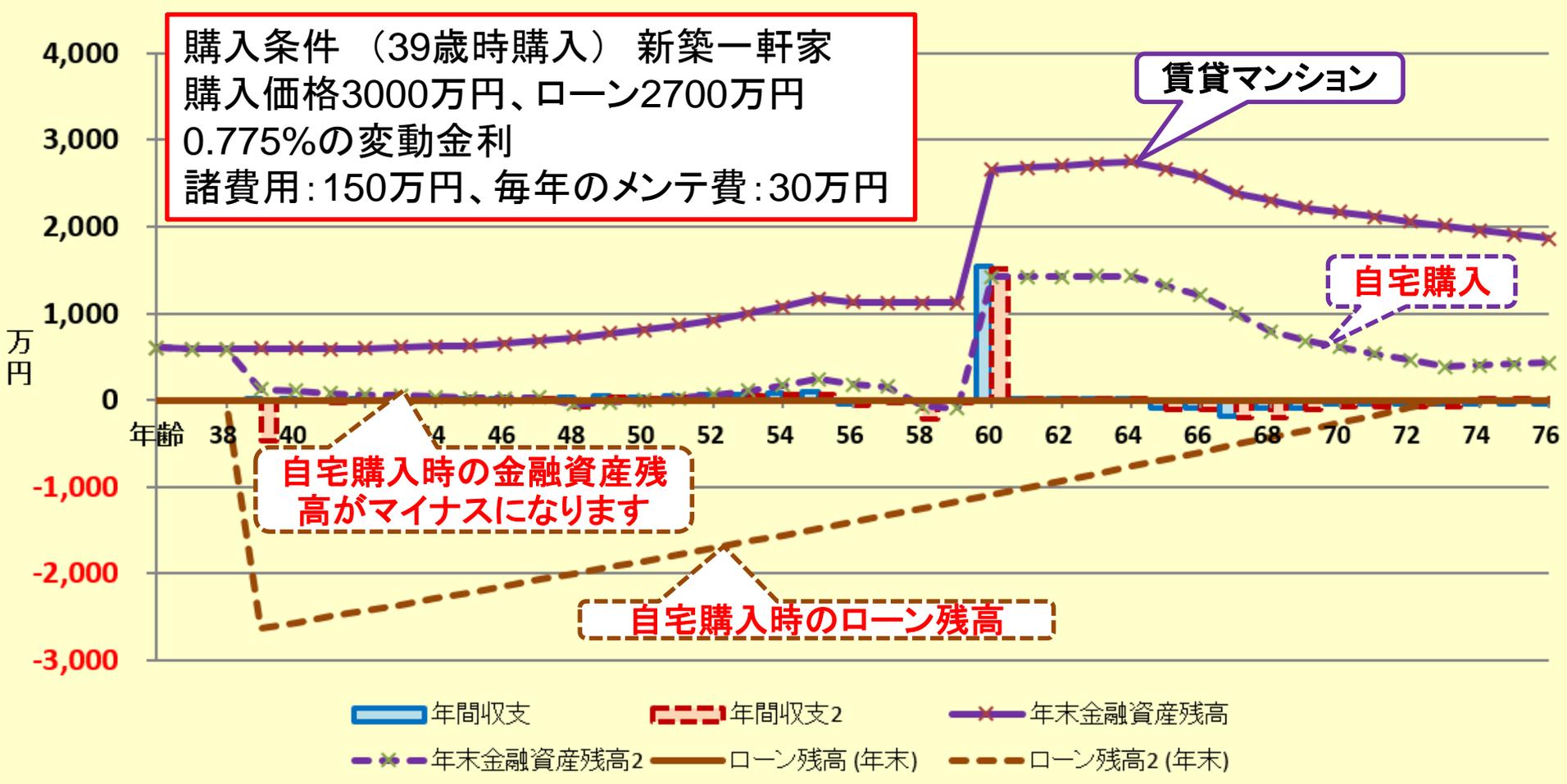
FPキャプテン 2020年版

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談 例1 続き ==

比較：金融資産状況（賃貸マンション vs 自宅購入）

購入条件（39歳時購入）新築一軒家
 購入価格3000万円、ローン2700万円
 0.775%の変動金利
 諸費用：150万円、毎年のメンテ費：30万円



FPキャプテン 2020年版

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談 例1 続き ==

相談事例の金融資産状況（自宅購入時）

変更(例2:Input2)		変更のキャッシュフロー表(単位:万円)		田中様										2020年2月6日		作成者 岩崎康之	
経過年数	西暦	基準年→	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
ライフイベント	家族・夫婦予定	子供予定	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	
年齢	誠様	本人	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	
	由美様	配偶者	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	
	いよいよ時は-1	第一子	-1	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
予想値	参考:	誠様	420	429	439	449	459	469	480	490	501	513	524	536	548	560	
	参考:	由美様	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	参考:	退職金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収入	可処分所得	誠様	2.234%	338	346	354	361	368	376	383	391	399	408	416	424	433	442
	可処分所得	由美様	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	可処分所得	退職金	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ローン借入金		0	0	0	2,700	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	副収入: 企業年金: 一時的: 注	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支出	その他ローン控除: 個年金: 注	0.000%	0	18	18	18	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	
	収入合計2(可処分所得)		338	364	372	3,079	380	388	395	403	411	420	428	436	445	454	
	基本生活費	0.000%	240	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275	275
	住居費(ローン以外)	0.000%	96	96	96	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	130
	教育費	0.000%	0	0	0	0	0	22	15	15	32	32	32	32	32	32	32
	保険料	0.000%	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	自動車関連費	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一時的支出	0.000%	0	0	0	3,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他支出: 年金積立	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支出小計2		339	374	374	3,308	308	330	323	323	340	340	340	340	340	440	340
ローン返済代+諸費用		0	0	0	238	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	88	
使途不明金2	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
支出合計2		339	374	374	3,546	396	418	411	411	428	428	428	428	528	428		
年間収支2	601	-1	-10	-2	-467	-16	-30	-16	-8	-17	-9	-0	8	-83	26		
年末金融資産残高2	600	0.000%	600	590	588	121	105	75	59	51	34	25	25	33	-50	-24	
ローン残高2(年末)		0	0	0	2,633	2,565	2,496	2,427	2,358	2,288	2,217	2,146	2,074	2,002	1,929		
児童手当受給額+すまい給付金	万円	0	18	18	18	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	

金融資産残高がマイナスになります。どのような対応をしますか？

FPキャプテン 2020年版

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複製、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談 例2 ==

40歳代：老後資金のご相談

田中さんご夫婦が老後資金に関して**相談**にいらっしゃいました。

1. ご主人(48歳)の仕事は小企業の製造業(板金工)です。
2. 奥様(47歳)は小企業の飲食業に勤務しています。
3. お子様は高校生一人です。大学に進学予定です。
4. 45歳の時に自宅を購入しました。
5. 自宅購入後、老後資金が不足しないか心配になり相談にきました



申込(相談)の後、次ページの**金融資産情報**をメールでご返信いただきました。

次回の面談をどの様な用意をしたらよいか討議して頂きたいと思えます

⇒お客様、FPと書記に別れて、実際の面談を想定してロールプレーを実施して下さい

[ライフプラン相談記入シート](#)

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談 例2 続き ==

お客様の金融資産状況

- 本人(誠さん)は製造業(小企業)会社員(板金工) 昨年末**48歳**
年収**440万円** **65歳**退職予定 昇給率・退職金:不明なので統計値使用
- 配偶者(由美さん)は飲食店(小企業)勤務 昨年末**44歳**
年収**260万円** **60歳**退職予定 昇給率・退職金:不明なので統計値使用
- 子供は長男(健人君):昨年末**16歳**
- 昨年末の金融資産残高は**400万円**
- 基本生活費は**320万円** 保険料は**10万円**
- 自宅(マンション・2LDK)は本人が**45歳**の時に**3,400万円**の物件を購入
その時のローンは、変動金利、借入金額**3,000万円**、年利**0.975%**、期間**35年**

使途不明金の計算



一 昨年の預貯金を確認した結果: **360万円** (預貯金は定期預金と普通預金のみ)



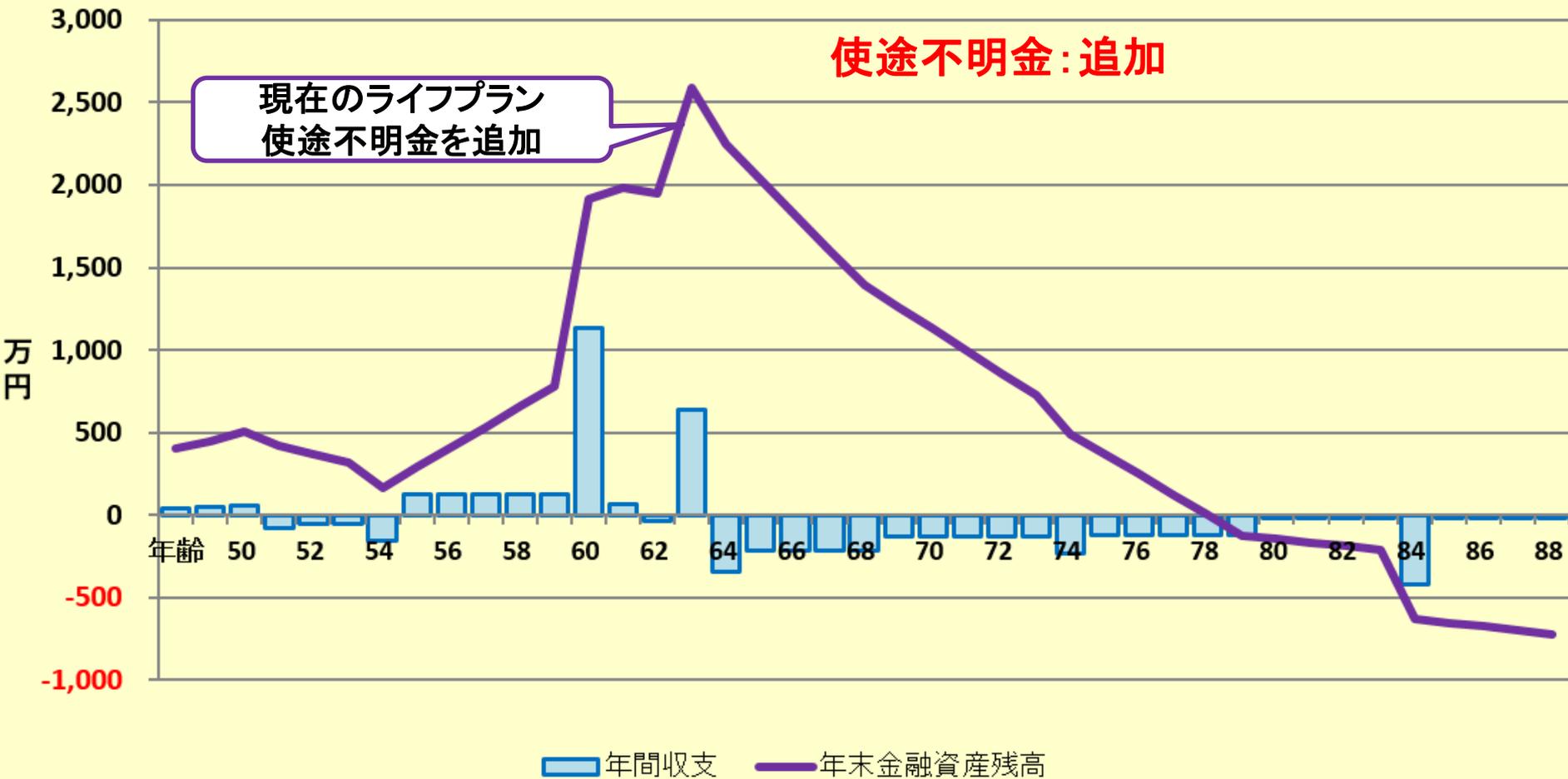
ご相談内容

- 今の状況での老後資金を教えてください。⇒不足する場合は対策をお知らせください
- 現在板金工の後継者がいなく、企業より69歳まで勤務できるか尋ねられています。
- 十分勤務可能ですので、年金を70歳から受給する場合の受給額も知りたいです

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談 例2 続き ==

現状の金融資産状況



FPキャプテン 2020年版

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談 例2 続き ==

現状の金融資産状況 (64歳まで勤務)

少し右へスクロール

現状(例1:Input)		現状の千円	記入日														作成者		
経過年数	西暦	基準年⇒	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	21	22			
			2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2040	2041			
ライフイベント		家族・夫婦予定 子供予定															退職金		
年齢	誠様	本人	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	69	70			
	由美様	配偶者	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	65	66			
	健人様	第一子	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	37	38			
予想値	参考:	誠様	税込予測	473	473	473	473	473	473	402	402	402	402	402	208	169	169		
	参考:	由美様	税込予測	260	260	260	260	260	260	260	260	260	260	0	0	127	127		
	参考:	退職金	税込予測	0	0	0	0	0	0	1,071	0	0	571	0	0	0	0		
収入	可処分所得	誠様	1.814%	373	373	373	373	373	373	317	317	317	317	317	187	150	150		
	可処分所得	由美様	0.221%	207	207	207	207	207	207	207	207	207	207	0	0	111	118		
	可処分所得	退職金	0.000%	0	0	0	0	0	0	1,071	0	0	571	0	0	0	0		
	ローン借入金			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	副収入: 企業年金: 一時的: 注	0.000%		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	その他ローン控除: 個人年金: 注	0.000%		16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	収入合計(可処分所得)			595	580	580	580	580	580	1,595	524	524	1,095	317	187	268	268		
支出	基本生活費	0.000%	320	279	279	279	279	279	279	279	279	279	279	279	223	223	223		
	住居費(ローン以外)	0.000%	134	34	34	34	34	34	34	34	34	34	234	34	34	34			
	教育費	0.000%	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	保険料	0.000%	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10		
	自動車関連費	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	一時的支出	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0	0	0	0		
	その他支出・年金積立	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	支出小計1		614	323	323	323	323	323	323	323	323	423	323	523	267	267	267		
	ローン返済代+諸費用		101	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101		
	使途不明金 自動計算	0.000%	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32		
支出合計		747	457	457	457	457	457	457	457	457	557	457	657	401	401	401			
年間収支	328	-152	123	123	123	123	123	123	1,138	67	-33	638	-340	-214	-133	-133			
年末金融資産残高	360	0.000%	166	288	411	534	657	780	1,917	1,984	1,951	2,588	2,249	2,034	1,259	1,126			
ローン残高(年末)			2,245	2,165	2,084	2,003	1,921	1,838	1,755	1,670	1,585	1,499	1,412	1,324	964	872			

本人退職金

本人年金

使途不明金: 追加

FPキャプテン 2020年版

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談 例2 続き ==

お客様のご希望内容



ご希望内容を実施した場合

- 今の状況での老後資金を教えて欲しい。⇒不足する場合の対策を依頼された
- 現在板金工の後継者がいなく、企業より69歳まで勤務できるか尋ねられている
 - ⇒ 69歳迄勤務する（65歳～69歳の年収は約354万円の予定）
 - ⇒ ご本人は長寿の家系であるのでより年金額を増やしたい
 - ⇒ 70歳から繰下げ年金を受給する。受給額を算出して欲しい
- ローンを退職金（60歳受給）で一括返済する



全体的に問題点があるかを考える

次回の面談で行う説明内容・質問項目と解決策を討議して頂きたいと思います

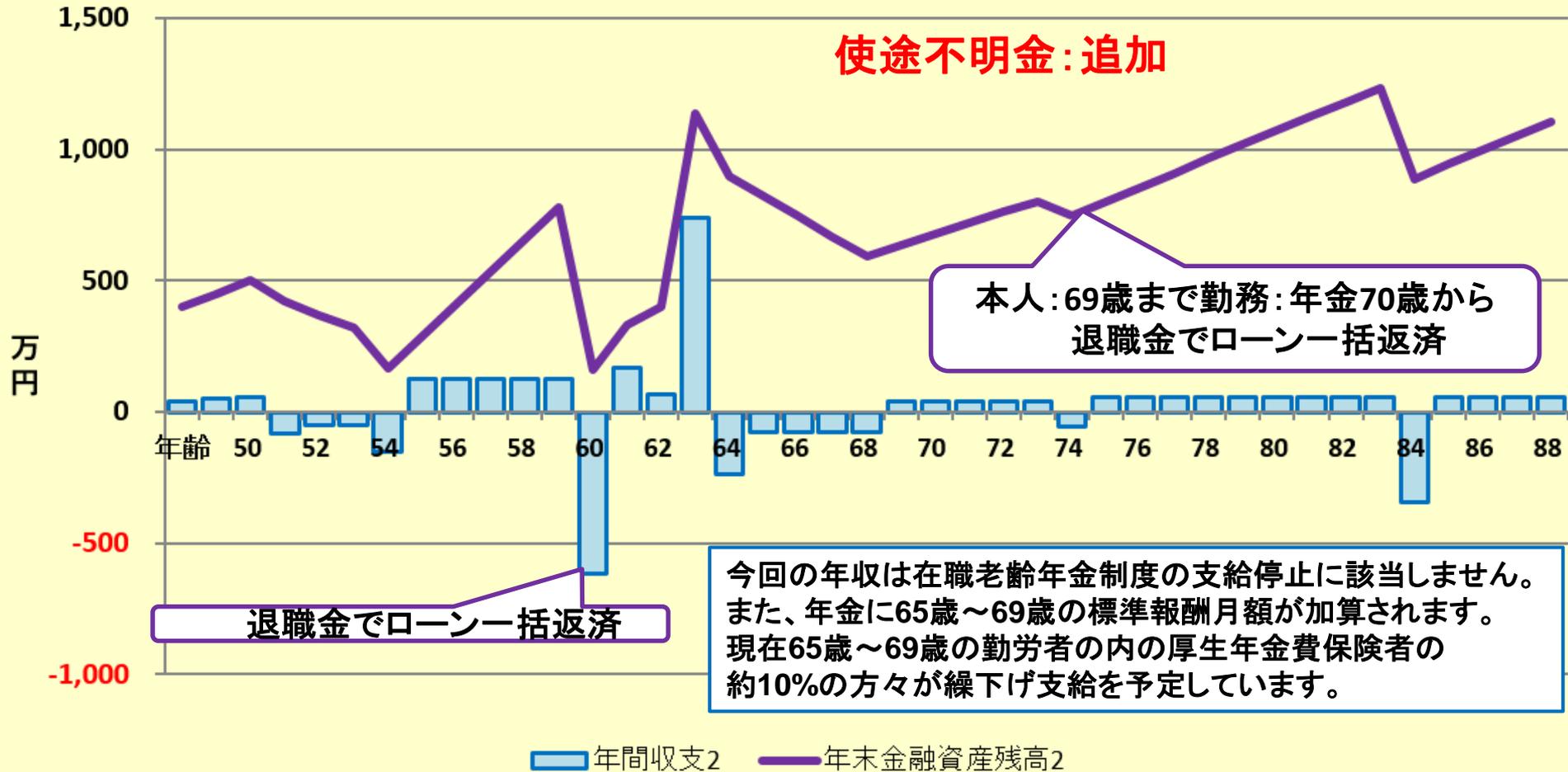
[ライフプラン相談記入シート](#)

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談 例2 続き ==

自宅購入後の金融資産状況

(本人:69歳まで勤務:年金70歳から受給)
(住宅ローンを退職金で一括返済)



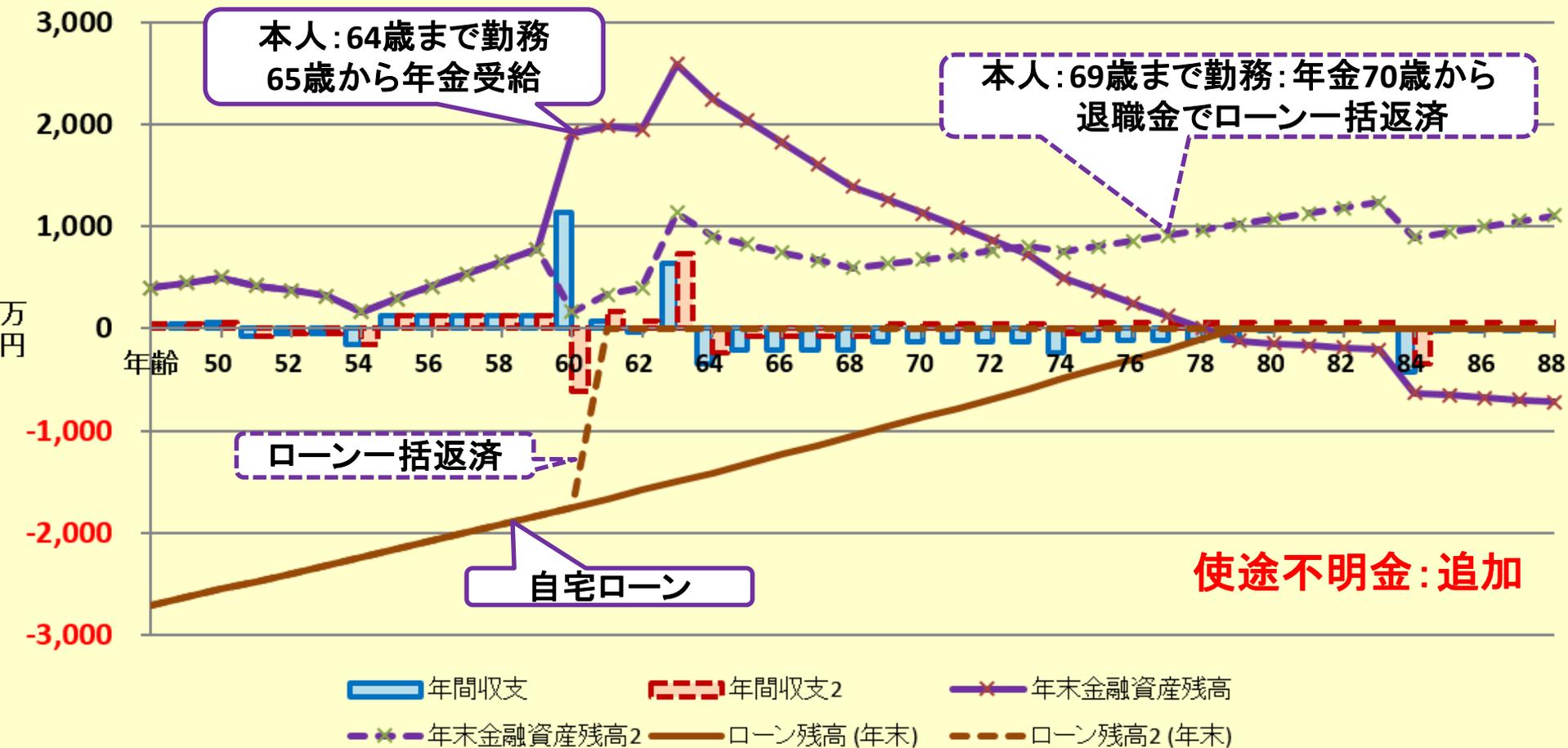
[例3へ](#)

FPキャプテン 2020年版

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談 例2 続き ==

金融資産状況の比較 (64歳迄勤務 vs 69歳迄勤務・ローン一括返済)



FPキャプテン 2020年版

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談 例2 続き ==

相談事例の金融資産状況

(本人:69歳まで勤務:年金70歳から受給)

使途不明金:追加 (住宅ローンを退職金で一括返済)

少し右へスクロール

変更(例2:Input2)		変更のキ	記入日	作成者													
経過年数	西暦	基準年	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	21	22	
西暦			2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2040	2041	
ライフイベント		家族・夫婦予定 子供予定							退職金			退職金					
年齢	誠様	本人	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	69	70	
	由美様	配偶者	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	65	66	
	健人様	第一子	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	37	38	
予想値	参考:	誠様	税込予測	473	473	473	473	473	473	402	402	402	402	402	354	354	257
	参考:	由美様	税込予測	260	260	260	260	260	260	260	260	260	0	0	127	127	
	参考:	退職金	税込予測	0	0	0	0	0	0	1,071	0	0	571	0	0	0	
収入	可処分所得	誠様	1.814%	373	373	373	373	373	373	317	317	317	317	317	279	279	224
	可処分所得	由美様	0.221%	207	207	207	207	207	207	207	207	207	0	0	118	118	
	可処分所得	退職金	0.000%	0	0	0	0	0	0	1,071	0	571	0	0	0	0	
	ローン借入金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	副収入: 企業年金: 一時的: 注	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他ローン控除: 個人年金: 注	0.000%	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収入合計2(可処分所得)			595	580	580	580	580	580	1,595	524	524	1,095	317	279	397	342	
支出	基本生活費	0.000%	320	279	279	279	279	279	279	279	279	279	279	279	279	223	
	住居費(ローン以外)	0.000%	134	34	34	34	34	34	34	34	34	34	234	34	34	34	
	教育費	0.000%	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	保険料	0.000%	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
	自動車関連費	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一時的支出	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0	0	0	
	その他支出: 年金積立	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	支出小計2		614	323	323	323	323	323	323	323	323	423	323	523	323	323	267
	ローン返済代+諸費用		101	101	101	101	101	101	101	1,856	0	0	0	0	0	0	0
	使途不明金2: 自動計算	0.000%	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
支出合計2		747	457	457	457	457	457	457	2,212	356	456	356	556	356	356	300	
年間収支2	328	-152	123	123	123	123	123	123	-617	168	68	739	-239	-76	42	42	
年末金融資産残高2	360	0.000%	166	288	411	534	657	780	163	331	399	1,137	899	822	635	677	
ローン残高2(年末)			2,245	2,165	2,084	2,003	1,921	1,838	1,755	0	0	0	0	0	0	0	

本人退職金

本人年金

金融資産残高がマイナスになります。どのような対応をしますか？

FPキャプテン 2020年版

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談 例3 ==

50歳代：自宅買替のご相談

田中さんご夫婦が自宅の買替に関して**相談**にいらっしゃいました。

1. 仕事は中堅企業の会社員であり堅実な方です。
2. 夫は52歳で妻は50歳で、中古のマンション(**3DK**)で生活しています。
3. 子供が長男(24歳)と長女(21歳)で、学費は今年が最終です。
4. 勤務している会社の建物の**耐震補強**が行われました。
これに刺激を受け、今の自宅の耐震状況を知りたくなりました。自宅は32歳の時に20年物の中古マンションを購入しました。新耐震発表の数年前の建物です。管理組合に耐震強度の確認を依頼していますが、実施しない模様です。もし耐震強度が低いことが判明した時に耐震補強をしないと資産価値が下がります。また現状では修理費用を捻出できないためだそうです。
5. この為、マンションを売却し、**新耐震基準**(2000年基準)にあったマンションへの買替を考えています。(2DK or 2LDKのマンションに引っ越したい)

申込(相談)の後、次ページの**金融資産情報**をメールでご返信いただきました。

次回の面談をどの様な用意をしたらよいか討議して頂きたいと思えます

⇒お客様、FPと書記に別れて、**実際の面談を想定してロールプレーを実施して下さい**

[ライフプラン相談記入シート](#)

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談 例3 続き ==

お客様の金融資産状況

- 本人(誠さん)は電気会社(中企業)会社員 昨年末**52歳**
年収**740万円** 昇給率・退職金:不明なので統計値使用
- 配偶者(由美さん)は専業主婦 昨年末**50歳**
- 子供は昨年末 長男(健人君):**24歳** と 長女(美咲さん):**21歳**
- 昨年末の金融資産残高は**1000万円**
- 基本生活費は**320万円** 保険料は**10万円**
- 自宅(マンション)は本人が**32歳**の時に**2500万円**の中古物件を購入
その時のローンは、変動金利、借入金額**2,200万円**、**年利1.550%**、**期間35年**

使途不明金の計算

一 昨年の預貯金を確認した結果: **1050万円** (預貯金は定期預金と普通預金のみ)

ご相談内容

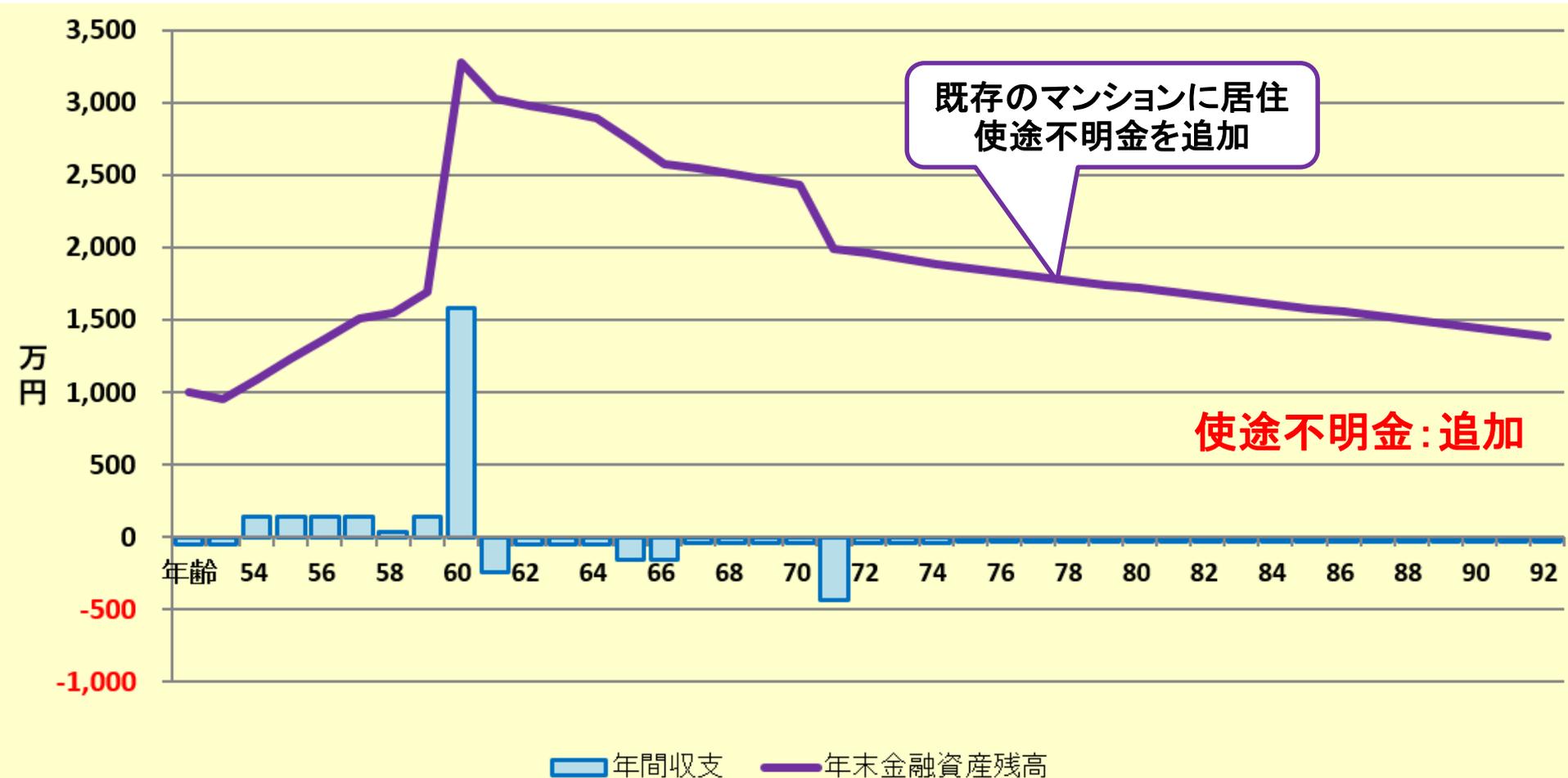
- 新耐震マンションの自宅(**2LDK**)に住替えたい。 ⇒ お客様の要望は次です
 - ・ **3,000万円**(+諸費用**300万円**)の中古マンションを購入 (ローン:25年・**0.675%**)
 - ・ 今のマンションを**1,200万円**で売却、諸経費(含む引越代)を**200万円**
- **老後資金**を確保できるかの検討をお願いしたい

自宅買替

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談 例3 続き ==

現状の金融資産状況



FPキャプテン 2020年版

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複製、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談 例3 続き ==

現状の金融資産状況 (旧耐震基準マンション)

現状(例1:Input)		現状のキャッシュフロー表 (単位:万円)		田中様										2020年2月6日		作成者 岩崎康之	
経過年数	西暦	基準年⇒	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
			2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	
ライフイベント		家族・夫婦予定 子供予定										退職金					
年齢	誠様	本人	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	
	由美様	配偶者	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	
	健人様	第一子	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	
	美味様	第二子	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	
予想値	参考:	誠様	税込予測	720	720	720	720	720	720	720	482	482	482	482	482	241	
	参考:	由美様	税込予測	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	参考:	退職金	税込予測	0	0	0	0	0	0	0	1,631	0	0	0	0	0	
収入	可処分所得	誠様	2,586%	564	564	564	564	564	564	564	378	378	378	378	378	213	
	可処分所得	由美様	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	可処分所得	退職金	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	1,631	0	0	0	0	0	
	ローン借入金			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	副収入: 企年金: 一時的: 注	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他ローン控除: 個年金: 注	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	収入合計(可処分所得)			564	564	564	564	564	564	564	2,008	378	378	378	378	378	213
支出	基本生活費	0.000%	320	320	279	279	279	279	279	279	279	279	279	279	279	223	
	住居費(ローン以外)	0.000%	25	25	25	25	25	25	25	25	25	125	25	25	25	25	
	教育費	0.000%	150	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	保険料	0.000%	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	
	自動車関連連費	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一時的支出	0.000%	0	0	0	0	0	0	100	0	0	100	0	0	0	0	
	その他支出・年金積立	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	支出小計1		505	505	314	314	314	314	414	314	314	514	314	314	314	258	
	ローン返済代+諸費用		81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81	81
	使途不明金	自動計算	0.000%	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
支出合計		614	614	424	424	424	424	524	424	424	624	424	424	424	368		
年間収支	1,022	-50	-50	140	140	140	140	140	40	140	1,585	-246	-46	-46	-46	-155	
年末金融資産残高	1,050	0.000%	1,000	950	1,090	1,230	1,370	1,511	1,551	1,691	3,276	3,030	2,984	2,938	2,892	2,737	
ローン残高(年末)		1,025	959	892	824	754	684	613	540	467	392	316	239	160	81		

使途不明金: 追加

FPキャプテン 2020年版

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談 例3 続き ==

お客様のご希望



ご希望を対応した場合

- 新耐震マンションの自宅(2LDK)に住替えたい。(55歳) ⇒ お客様の要望は次です
 - 3,000万円(+諸費用300万円)の中古マンションを購入
(ローン:借入額2700万円、変動金利、25年、0.675%)
 - 今のマンションを1,200万円で売却、諸経費(含む引越代)を150万円
- 老後資金を確保できるかの検討をお願いしたい



ご希望が無理の場合の対策を考える

次回の面談で行う説明内容・質問項目と解決策を討議して頂きたいと思います

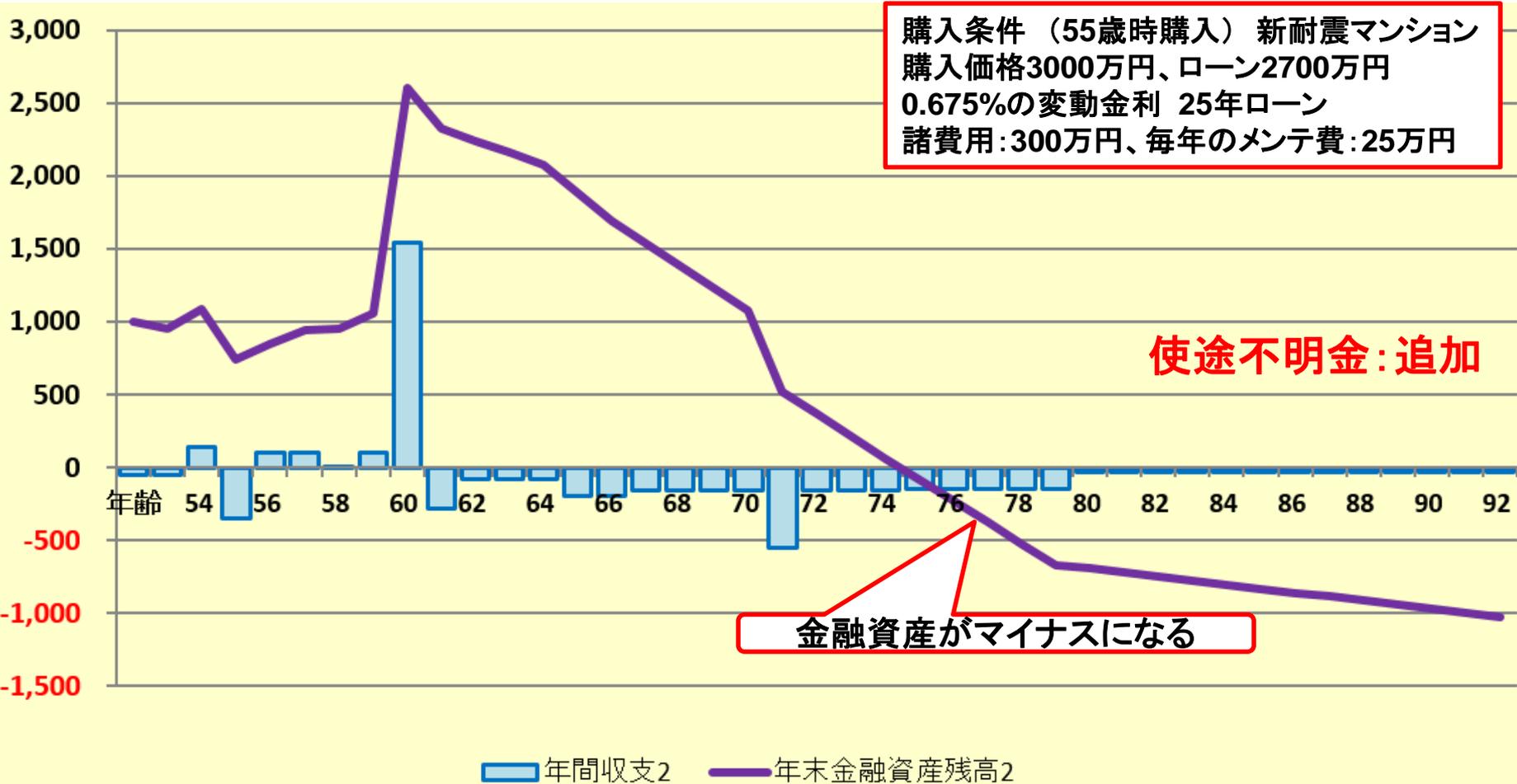
[自宅買替](#)

[ライフプラン相談記入シート](#)

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談 例3 続き ==

自宅購入後の金融資産状況 (新耐震マンションを購入した時)



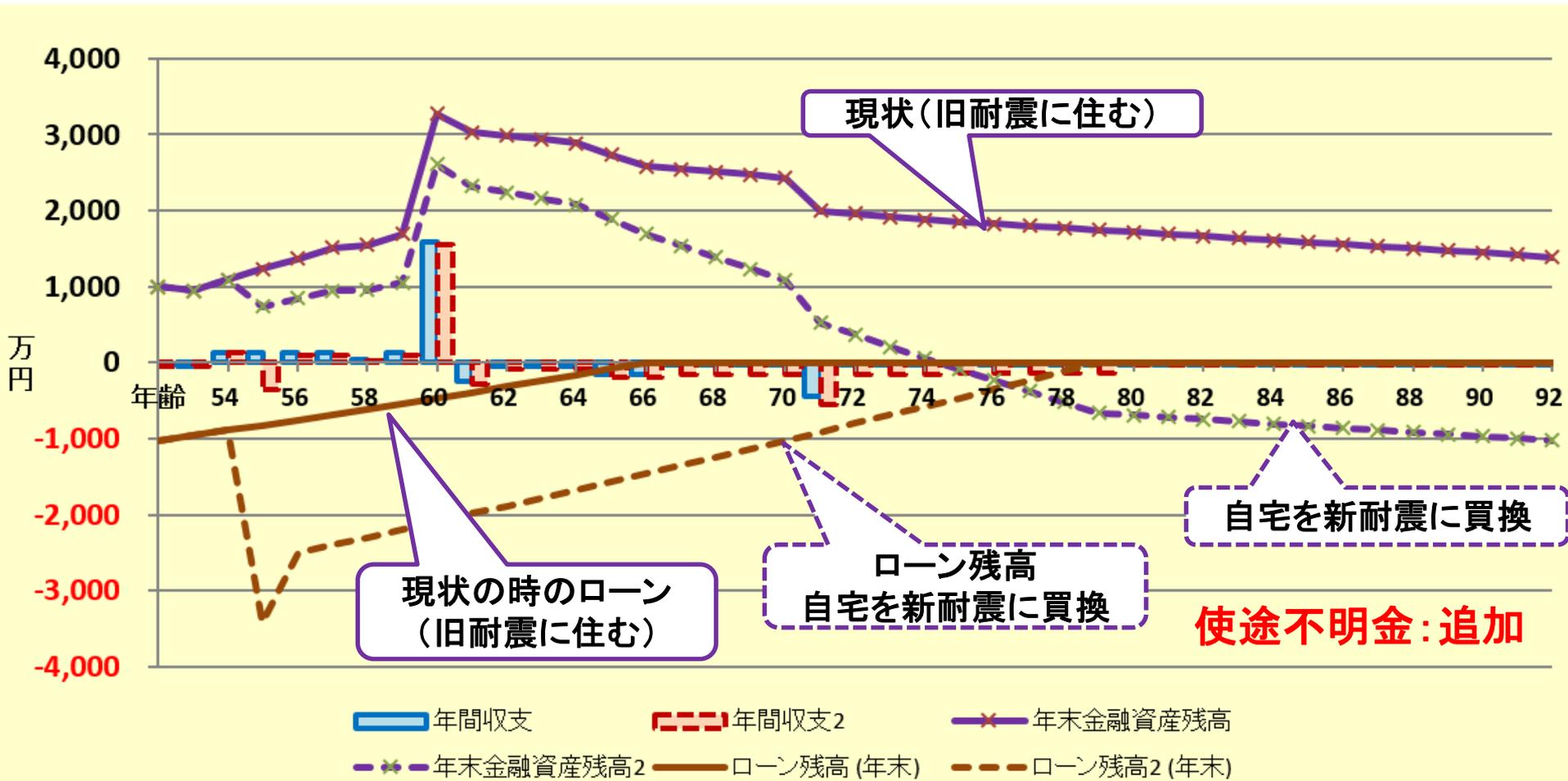
[参考資料へ](#)

FPキャプテン 2020年版

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談 例3 続き ==

金融資産状況の比較 (旧耐震 vs 新耐震マンション)



FPキャプテン 2020年版

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談 例3 続き ==

相談事例の金融資産状況 (新耐震基準マンションに買替)

用途不明金:追加

変更(例2:Input2)		変更のキャッシュフロー表 (単位:万円)		田中様		2020年2月6日		作成者 岩崎康之								
経過年数	西暦	基準年⇒	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
ライフイベント	家族・夫婦予定	子供予定									退職金					
年齢	誠様	本人	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65
	由美様	配偶者	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63
	健人様	第一子	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37
	美咲様	第二子	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
予想値	参考:	誠様	税込予測	720	720	720	720	720	720	720	482	482	482	482	482	241
	参考:	由美様	税込予測	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	参考:	退職金	税込予測	0	0	0	0	0	0	0	1,631	0	0	0	0	0
収入	可処分所得	誠様	2.586%	564	564	564	564	564	564	564	564	378	378	378	378	213
	可処分所得	由美様	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	可処分所得	退職金	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	1,631	0	0	0	0	0
	ローン借入金			0	0	0	2,700	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2 福収入: 企業年金: 一時的: 注	0.000%	0	0	0	1,200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他ローン控除: 個人年金: 注	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	収入合計2 (可処分所得)			564	564	564	4,464	564	564	564	564	2,008	378	378	378	378
支出	基本生活費	0.000%	320	320	279	279	279	279	279	279	279	279	279	279	279	223
	住居費 (ローン以外)	0.000%	25	25	25	25	25	25	25	25	25	125	25	25	25	25
	教育費	0.000%	150	150	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	保険料	0.000%	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	自動車関連費	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2 一時的支出	0.000%	0	0	0	3,000	0	0	100	0	0	100	0	0	0	0
	その他支出: 年金積立	0.000%	0	0	0	450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支出小計2		505	505	314	3,764	314	314	414	314	314	514	314	314	314	258
	ローン返済代+諸費用		81	81	81	1,022	117	117	117	117	117	117	117	117	117	117
	用途不明金2 自動計算	0.000%	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
支出合計2		614	614	424	4,815	460	460	580	460	460	660	460	460	460	404	
年間収支2	1,022	-50	-50	140	-351	104	104	4	104	1,549	-282	-82	-82	-82	-191	
年末金融資産残高2	1,050	0.000%	1,000	950	1,090	739	844	948	952	1,056	2,605	2,323	2,241	2,159	2,077	1,887
ローン残高2 (年末)		1,025	959	892	3,424	2,500	2,400	2,298	2,196	2,093	1,989	1,885	1,780	1,674	1,568	

金融資産残高がマイナスになります。どのような対応をしますか？

FPキャプテン 2020年版

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複製、無断配布などは、固くお断りいたします。

== 参考資料 == お客様説明用

[例1へ](#)

[例2へ](#)

[例3へ](#)

[seminar208](#)

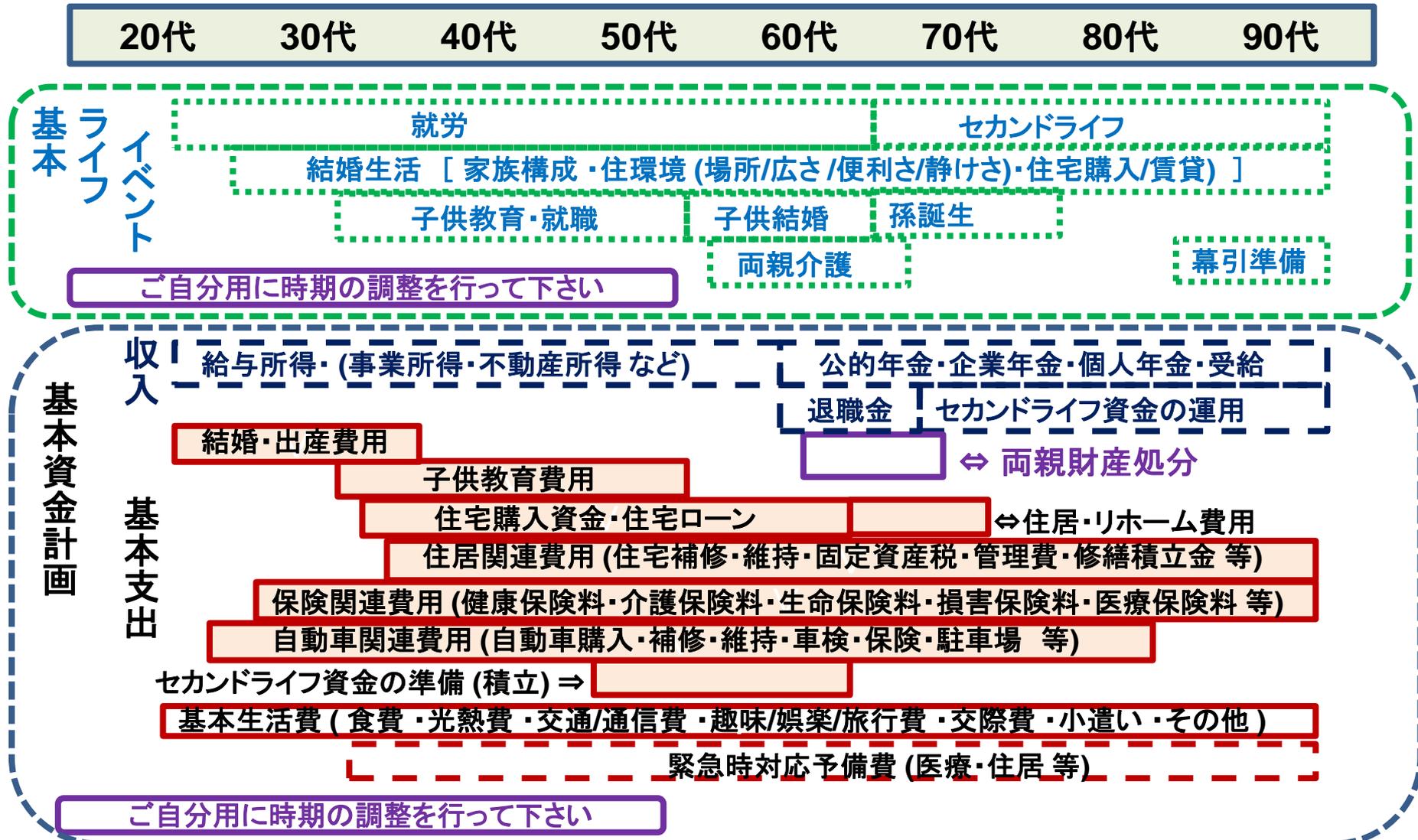
[seminar307](#)

[KFPホームページ紹介](#)

[ライフプラン相談記入シート](#)

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『基本ライフステージ』の展開 ⇒ 例



このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

現在の家計の収支状況を把握する

収入は可処分所得でとらえる。

可処分所得 = 年収 - (社会保険料 + 税金) (源泉徴収票より)

⇒キャッシュフロー表の収入欄に記入する

支出は6つに分類する(年額)

- ①基本生活費
- ②住居費(家賃、住宅ローン)
- ③教育費
- ④保険料
- ⑤その他費用
- ⑥一時費用(旅行、車の買換え費)

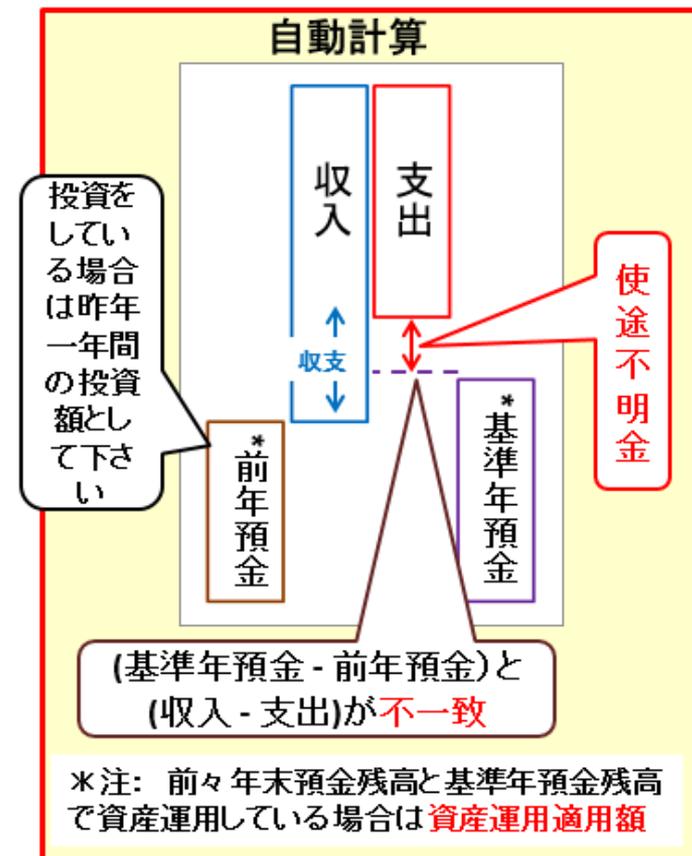
⇒キャッシュフロー表の支出内訳欄に記入する

使途不明金の把握 認識していない支出

[例2 P12へ](#)

[例3 P20へ](#)

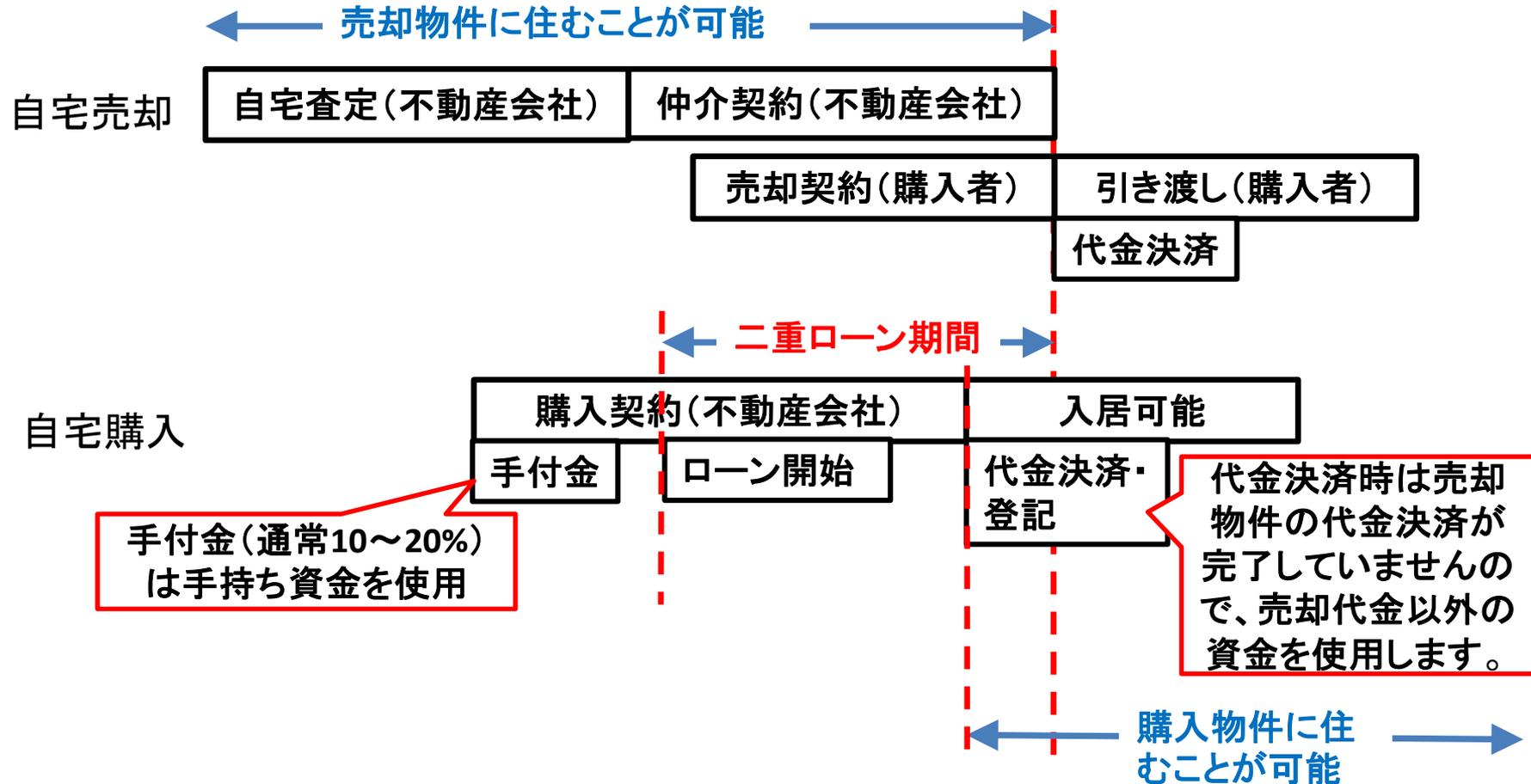
参考: 使途不明金の確認



事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

自宅買替

自宅買い替えスケジュールのポイント (買い先行の場合)

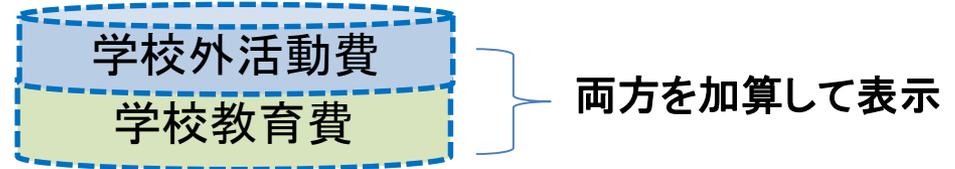


[例3 P20へ](#) [例3 P23へ](#)

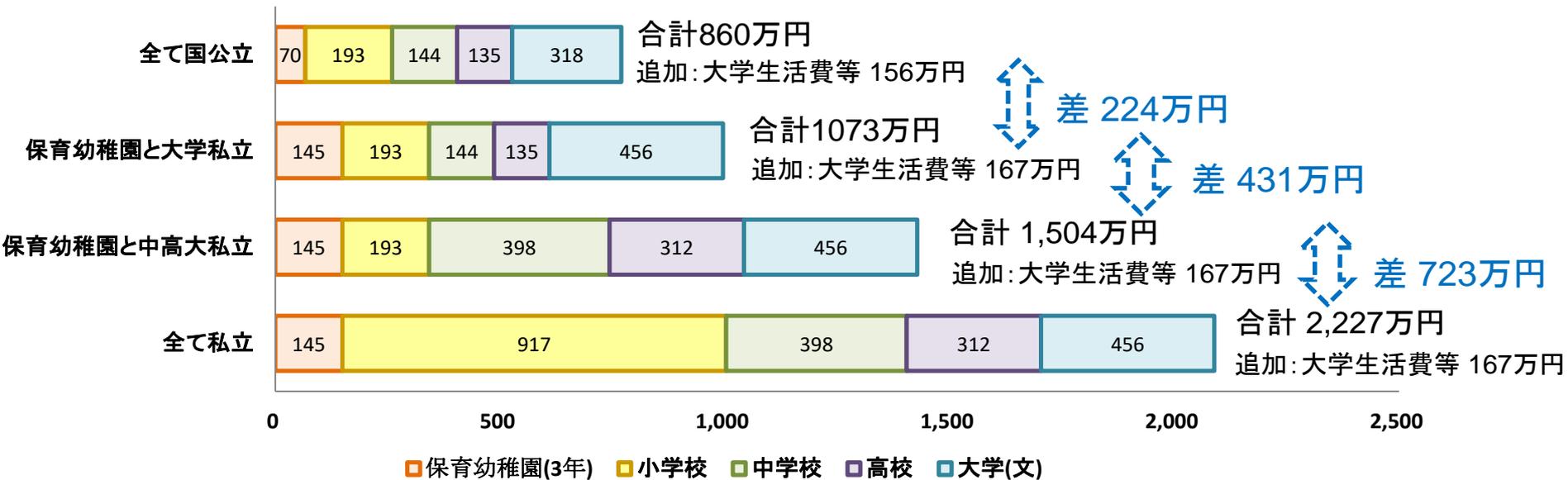
このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

教育費の現状

参考資料： 教育にかかる費用の確認



注：下の横棒グラフは大学生生活費と大学追加費用を含んでいません



出典：文部科学省 子どもの学習費調査 を編集 平成28年
文部科学省 私立大学等 学生納付金調査 平成28年度

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

教育費の補助・無償化

学校教育無償化 2020年4月実施予定（幼児教育無償化は2019年10月実施）

教育無償化	年収目安*	住民税非課税	303万以下	378万以下	590万未満	910万未満	910万以上
大学等無償化 授業料等減免	私立支給額	76.50	51.00	25.50	0.00	0.00	0.00
	国立支給額	61.00	40.67	20.33	0.00	0.00	0.00
大学教育等の支援 日本学生支援機構 給付奨学金制度 学力基準達成の場合 (除く:貸与奨学金)	私立自宅	45.96	30.64	15.32	0.00	0.00	0.00
	国立自宅	35.04	23.36	11.68	0.00	0.00	0.00
	私立自宅外	90.96	60.64	30.32	0.00	0.00	0.00
	国立自宅外	80.04	53.36	26.68	0.00	0.00	0.00
高校無償化 奨学給付金	私立支給額	49.65	39.80	39.80	39.80	11.88	0.00
	公立支給額	20.15	11.88	11.88	11.88	11.88	0.00
幼児教育無償化 ()は専業主婦(夫)	0~2歳児	50.4	0	0	0	0	0
	3~5歳児	50.4	44.4 (30.84)	44.4 (30.84)	44.4 (30.84)	44.4 (30.84)	44.4 (30.84)

新たな給付奨学金制度: 大学・短期大学・専修学校など(2020年4月から適用)

日本学生 支援機構 学力基準 達成(注)	年収目安*	住民税非課税	303万円以下	378万円以下	590万円以下	910万円未満	910万円以上
	私立自宅	45.96	30.64	15.32	0.00	0.00	0.00
	国立自宅	35.04	23.36	11.68	0.00	0.00	0.00
	私立自宅外	90.96	60.64	30.32	0.00	0.00	0.00
	国立自宅外	80.04	53.36	26.68	0.00	0.00	0.00

注: 高等学校等における全履修科目の評定平均値が5段階評価で3.5以上あること

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複製、無断配布などは、固くお断りいたします。

コンピテンシーマップ (1/2)

FP実務に共通するスキル

専門家としての責任

- 専門家としての倫理・行動原則
顧客第一、誠実性、専門家意識、他の専門家との連携等
- 専門性の維持
継続学習を通じた専門性の維持・向上
- コンプライアンス
FP実務に関連する法令・規制の理解と順守

コミュニケーション力

- 顧客相談
要点の理解、意思疎通、非言語的要素等
- プレゼンテーション
情報伝達、倫理性等
- 情報技術 (IT)
データ分析、情報管理ソフトの活用等

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

コンピテンシーマップ (2/2)

情報収集・分析力

- 顧客のライフプラン、キャッシュフロー
定量的及び定性的情報の収集と分析

- 時間価値
終価係数、現価係数等の応用

- ファンダメンタルズ、外部環境
内外の経済指標、市場動向、法令・規制、各種制度等の理解

提案力

- ファイナンシャル・プランの検討と作成
プランの構成要素の評価と統合

- ファイナンシャル・プラン実行の支援
実行ステップの明確化

- ファイナンシャル・プランの見直し
環境変化と見直しサイクルの明確化

マーケティング

- ビジネスモデルの明確化
市場環境、専門分野、顧客ニーズ、提供する価値の明確化

- マーケティング
調査、広告、顧客獲得

- ネットワーキング
ビジネスパートナー、他の専門家、専門家組織との協働

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

会員倫理規定

- FP業務を行うにあたりコンプライアンス、法令順守を常に意識する必要がある。

(参考) 日本FP協会「会員倫理規定」より抜粋

第1条 会員は、順法精神に基づき、顧客の最善の利益を追求しなければならない。

第2条 会員は、顧客に対して、その業務の適正、公平さを保つために必要なすべての情報を開示したうえで、専門家としての業務を公平かつ道理に適った方法で提供しなければならない。

第3条 会員は、利益相反事項がある場合は、これを顧客に開示しなければならない。

==グループ討議用 ==

次回の面談の為の参考例

== FPの相談 例1 ==

次回の面談で行う説明内容・質問項目と解決策の例

- お客様の家族構成と現状の収入と支出を入手
- 近所の新築をむくめ色々な一軒家の下見を行い、情報収集を依頼
- ライフプランを作成し、教育費、奨学金(スカラシップ)の説明を用意
- ご両方の親からの援助の確認
- ご購入する場合は奥様の**パート収入**が必要になる旨の提案



皆様の場合はどうされますか？

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

== FPの相談 例2 ==

次回の面談で行う説明内容・質問項目と提案の例

- お客様の家族構成と現状の収入と支出を入手
- 見えない支出の「使途不明金」の説明
- 教育費の費用のチャートを用意
奨学金(スカラーシップ)の説明
- 将来の年金を増やすため、70歳から繰下げ年金を受給する
- 老後資金に余裕を持つため、奥様が64歳迄雇用延長する提案

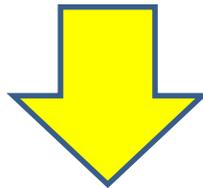


皆様の場合はどうされますか？

== FPの相談 例3 ==

次回の面談で行う説明内容・質問項目と提案の例

- お客様の家族構成と現状の収入と支出を入手
- 見えない支出の「使途不明金」の説明
- 奥様に来年から64歳迄パートをしていただく提案
- もう少し安い中古の新耐震対応のマンションに切り替える(提案)
- 自宅買替のスケジュールに関して説明する
(特に瞬時的に必要なキャッシュフローに関し説明する)



皆様の場合はどうされますか？